

<近現代の曹洞宗教団と人権問題研究会>

○おもな調査研究課題 とその要旨

①人権概念の検討

近現代の新しい人権（人権human rights）の背景と基礎として、旧い人権（占有 possession・固有権 property）が確認できました。人権という概念は、かならずしも近代以降の社会思想にかぎりません。

②人権思想の根拠と起源の検討

国憲や国法が基本的人権を保障しますが、法律・制度の根底にある人倫・徳義・正義・道徳が人権思想の基盤になります。これは洋の東西を問わず、古代からの人間の文化の基礎です。

③人権思想と仏教思想および信仰・実践との関係性検討

仏教思想と人権思想とは異なる思想ですが、仏教の人間観・不害・利益・智慧・慈悲の実践との堅い親和性があります。

④曹洞宗の歴史なканずく近現代における人権思想の理解と受容の検討

- ・明治期人権思想論争の課題 加藤弘之『人権新説』をてがかりに考察しました。
- ・衛藤即応師の宗教論と人間学 講演録『神社崇拜と仏教』 読解と注釈。
- ・「宗門の本尊論」読解を通して宗教論・人間論および人権思想を再考します。

⑤曹洞宗の機関誌・公刊媒体の資料収集と総目次作成

曹洞宗務局（両本山） 普達全書・明治期『宗報』・宗報・曹洞宗報等。

○研究会日程とその概要

4月8日

明治期曹洞宗教団における人権思想の系譜と背景についての考察
明治期人権思想論争 第4回 加藤弘之の人権思想の転向

5月12日

明治期曹洞宗教団における人権思想の系譜と背景についての考察
明治期人権思想論争 第5回 とくに優勝劣敗の社会ダーウィニズム論
加藤弘之『人権新説』講読と討議 とくに現代社会事象との関連で

6月9日

社会的差別と本覚思想もしくは如来蔵思想 特別研究討議（1）
袴谷憲昭「差別事象を生み出した思想的背景に関する私見」による

7月7日

曹洞宗総合研究センター公開研究会に向けての協議
部門研究報告「言論人としての衛藤即応」事前発表・討議

8月5日

社会的差別と本覚思想もしくは如来蔵思想 特別研究討議（2）
資料紹介 明治期『宗報』総目次

9月16日

公開研究会「曹洞宗と国粹主義・日本主義の系譜」に関する報告と討議
日本主義とくに橋田邦彦・衛藤即応師の動向と評価
映像資料視聴「そして学徒は戦場へ」NHK スペシャル 2022年8月8日

歴史研究とくに人物評価の留意点

10月14日

宗学者・衛藤即応師における人文思想とその人権思想の可能性（新規） 第1回
「神社崇拜と仏教」 1934（昭和9）年 講演録 読解と注釈および討議

11月14日

宗学者・衛藤即応師における人文思想とその人権思想の可能性 第2回
「神社崇拜と仏教」 1934（昭和9）年 講演録 読解と注釈および討議

2月8日

宗学者・衛藤即応師における人文思想とその人権思想の可能性 第3回
「神社崇拜と仏教」 1934（昭和9）年 講演録 読解と注釈および討議

○今後の予定

- ① 調査研究計画にもとづき〈近現代の曹洞宗教団と布教研究会〉の課題もふくめ有機的総合的に調査研究と討議を行い、本宗斯学の促進をめざします。
- ② 『宗報』『曹洞宗報』関係資料の総目次作成の継続。
- ③ 当部門に関連する公開研究会・特別講義等の企画。